

ハレット

第112号 東海美術連盟ニュース
発行日：令和3年3月1日
発行責任者：棚井 哲雄

何気ない日常を取り戻しましょう

理事長 棚井 哲雄

去年は日本にとっても、また世界においても輝かしい2020年の幕開けのはずが、新年から新型コロナの1年で、すべての人の日常があっという間に奪われてしまいました。

新しく年があけても、いまだに収束のめどが立つどころか、感染者はますます増加の傾向にあり、不安な今日この頃です。

1月28日付けの新聞によりますと、世界の感染者はついに一億人を超えたとの事。国により大きく差があるとはいえ、世界の総人口（推計で77億9500万人）で計算しますとなんと78人に1人が感染していることになり、これは本当に恐るべき数字ではないでしょうか。

そんな中、東海美術連盟の1年は、予定した行事のほとんどが、コロナ禍で会場の確保が出来ない、モデルを呼べない、数人での集まりですら実施できませんでした。

特別な秋・東海村文化祭2020ステイ東海を終えて

副理事長 佐藤 富夫

昨年まで開催されていた文化祭会場の総合体育馆が工事中のため、また新型コロナウィルス感染拡大防止に配慮するため、参加団体のイベント開催が会場や会期10月31(土)～12月26日(日)を分けながら開催されました。

絵画・彫刻展は12月13日(日)から19日(土)にステーションギャラリーで開催されました。鑑賞するにはマスクを着用して手指を消毒し、検温を経てという未だかつて経験のないことでした。展示作品には優れた作品が多く見られ、頼もしく感じました。



仲支部

山本 啓子さんに Tea タイム

A 絵はいつ頃、描くようになりましたか。そのきっかけは登山が趣味でしたが、体がついて行かなくなり断念しました。焼物も好きで、よく益子、笠間へ行き、そのつど器を買ってきました。あるとき、大好きな壺を壊してしまい、がっかりして、割れ物をながめているうち、形がおもしろいので描いてみようと思い、色鉛筆で描いたのがきっかけです。

A 公募展では『大臣賞』を受賞されていますね。公募展をどう感じていますか

A 公募展は教室の先生が入っていた新構造社に入れていただきました。初めて東京都美術館に自分のつたない作品が飾られているのを見て恥ずかしくて、持って帰りたくなりましたね。毎年出品しているうち他県の作家様のアドバイスを頂き、お友達もでき、とても勉強になりました。

A アキーラアクリル絵の具を使っているとお聞きしていますが、その特徴や利点を教えてください

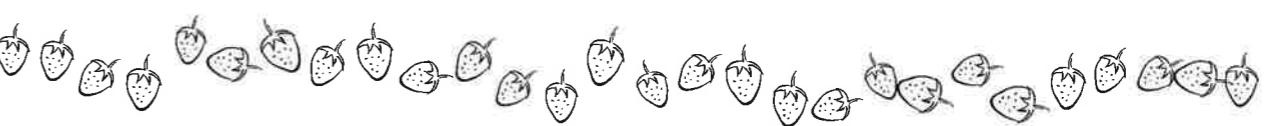
A 発色も良いので、私はエスキースをアクリル80パーセントまでアキーラで描き、仕上げを油に変えて描いています。

A 今後の活動について、どう考えておられますか

A コロナ禍で発表の場が少なくなりましたが、今まで通り東海美術連盟の行事には、全部参加させて頂きたいです。



『なにげない日常』が今まさに心に刺さります



今年は東海ステーションギャラリーで



検温とマスクで鑑賞

アートロードの軌跡

アートロード顧問 高橋忠治

第33回アートロード展は、2月1日から4月末まで、コロナ禍の糺余曲折のおり、会員の皆様の協力と担当役員の努力のもと、店舗の展示と、ギャラリー展の開催ができました。まことに喜ばしく、感謝いたしております。

振り返ってみると、昭和63年(1988年)盛大に第1回展を開催しております。

アートロードは協賛店舗の支援と当時の社会教育課の協力とご理解を得て設立しました。会員は自由参加とし、看板の制作や提示、その他の広告物は自前で制作し、今日に至っております。アートロードの目的として、美術館に足を運ぶのではなく、生活空間の中で作品にふれられるよう、村内の店舗、庁舎、企業、銀行などの展示スペースを借用し『暮らしの中の美術館』のキャッチフレーズで行ってきました。

平成2年(1990年)にはアートロード主導で、公募東海村ふれあいロード彫刻展・デッサン展が開催され

ました。彫刻の優秀作品の一部が買い上げられ、村内・企業・個人宅などに展示されております。また、この年アイダホフォールズ市に作品寄贈も行っております。平成3年(1991年)アイダホフォールズ市において友好美術展を開催いたしました。また会員増加の年でもありました。当時の須藤村長さんの助言もあり、書、写真部門が仲間に加わり、作品の多様性から潤いを感じた年でした。

これらの活動のほかにも、村主催で開催された木内克野外彫刻展のバックアップや近年では平成30年(2018年)茨城県天心記念五浦美術館でのアートロード30周年記念展は、99名の参加による一大イベントであったと記憶致しております。ほかにも日々ございますが紙面の都合上割愛させていただきます。

皆様の心からのご支援とご協力にあらためまして感謝いたしております。

アートロード第33回展に向けて準備!



1月15日舟石川コミセンでキックオフ配布物の準備とポスター作製



1月16日キックオフが中丸コミセンで行われた



アルコール消毒液等の準備OK!



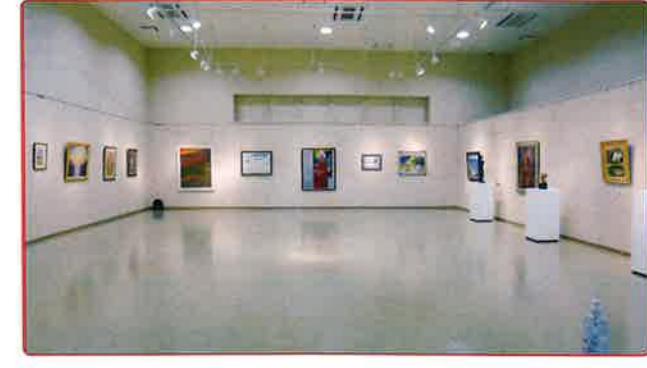
文化センターの前の看板

1日半遅れの異例のスタート

第33回アートロード東海ステーションギャラリー展の絵画・彫刻・工芸・華道展は、緊急事態宣言により会期が1日半遅れて2月8日の午後1時から2月13日まで行われた



ギャラリーA(2F)展示会場



ギャラリーB(1F)展示会場



役場1F



役場2F



図書館



須和間に移転した協賛店のFP保険東海(株)

In f o r m a t i o n

水彩連盟いばらき支部57回展	3月5日～3月10日	水戸アートセンター タキタ	【奥野他】
第26回 ノン・ブラック小品展	3月10日～3月15日	ひたちなか市民交流センター	【照沼他】
東海美術連盟総会	3月26日(舟石川コミセン午後1時30分から)		【連盟会員】
東海美術連盟日曜教室	4月11日,25日 5月9日,23日	中央公民館	
第9回 双風展	4月20日～4月25日	日立シビックセンターーギャラリー	【照沼他】
アートロード総会	4月22日(木) (舟石川コミセン午後1時から)		【会員】
第2回 佐藤政一・淳子展	5月9日～5月15日	東海ステーションギャラリーA	
2021芸術祭 東海美術連盟	5月16日～5月22日	東海ステーションギャラリーA・B	【連盟会員】

開催は突然取りやめになるかもしれませんので、お出掛けの際は会場、関係者にお問い合わせ願います
パレット編集員 木村・高野・塙 イラスト：高野(千) 皆様からの情報を待ちしています。